

企画財政部長（西川英智君）

おはようございます。

それでは、小川議員の白山市公式アプリケーションについての御質問にお答えをいたします。

現在、こうしたアプリは、県内では、今、議員が御質問でおっしゃられたように、金沢市、能美市を初め、野々市市におきましても取り組まれております。金沢市では行政施設の情報、能美市では観光情報等、野々市市では広報紙を掲載しているアプリケーションをつくっております。

こうしたアプリケーションは、イベント情報の発信や公共施設への道案内など、住民サービスの向上を図る上で有効な手段であると認識をしております。

本市といたしましても、今ほど議員がおっしゃられましたように、最低でも150万円、内容を濃くすれば200万円以上の経費がかかりますが、こういう初期経費と維持管理費等を勘案した上で、取り組みについて検討したいと考えております。

次に、オープンデータの情報公開に向けてのさらなる取り組みについてお答えをいたします。

本市では昨年9月より、オープンデータに対する取り組みを始めております。現在、学校やスポーツ施設などの施設情報を初め、災害時避難場所、AED設置場所などの情報を公開しております。

また、国がスマートフォン向けにアプリケーションとして開発したアプリDe統計に本市の統計情報をリンクさせ、他の自治体との連携も図っております。

今後さらに、コミュニティバスの時刻表や停留所の情報、さらに、観光情報等のデータの充実に取り組むことといたしたいと思っております。さらなる情報の公開について進めていきたいというふうに考えております。